



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 共和電業

コード番号 6853 URL <http://www.kyowa-ei.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星 淑夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中義一

TEL 042-489-7215

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	8,394	22.6	1,226	52.5	1,246	44.7	816	44.4
25年12月期第2四半期	6,844	4.3	804	48.0	861	55.4	565	85.5

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 829百万円 (17.8%) 25年12月期第2四半期 703百万円 (98.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	29.51	—
25年12月期第2四半期	22.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	19,743	11,515	58.3	415.39
25年12月期	19,496	10,916	56.0	395.16

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 11,515百万円 25年12月期 10,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	10.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	6.9	1,700	17.8	1,660	10.6	1,030	10.1	37.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	28,058,800 株	25年12月期	28,058,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	337,219 株	25年12月期	432,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	27,664,438 株	25年12月期2Q	25,146,756 株

当社は株式給付信託を導入しており、当該信託に株式給付信託口が所有する株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として会計処理しているため、平成26年12月期2Q「期末自己株式数」及び「期中平均株式数(四半期累計)」には、当該株式給付信託が所有する当社株式の数(それぞれ29,000株、347,143株)を自己株式に含めて算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成26年9月10日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ後の消費低迷等が懸念されましたが、影響は一部にあったものの、円安相場安定による企業収益の改善や設備投資の回復など、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国及び新興国経済の減速や、欧米の経済動向など、景気全体の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

計測機器業界におきましては、輸出企業を中心に設備投資の増加傾向が見られ、徐々に需要回復が見られる状況となりました。

このような事業環境のなか、当社グループは、「第4次中期経営計画」の2年目として、新たな事業領域の開拓とグローバルビジネスの拡充をはかる各種施策の推進に、引き続き取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における受注高は、企業収益回復に伴う設備投資の増加等により、7,842百万円（前年同期比6.0%増）となりました。また、売上高につきましては、大型案件の寄与などもあり、8,394百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

収益につきましては、販売費及び一般管理費の増加や売上原価率の上昇があったものの、売上高の増加により、営業利益は1,226百万円（前年同期比52.5%増）、経常利益は1,246百万円（前年同期比44.7%増）、四半期純利益は816百万円（前年同期比44.4%増）と前年同期に比べそれぞれ増益となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①計測機器セグメント

センサ及び測定機器等の製品販売につきましては、センサ、測定器の汎用品が企業収益の改善を背景にした年度末の設備投資の増加により、また特注品やシステム品については、昨年受注した高速道路向け車両重量計測システムやダム の堤体観測装置等の大型受注残の売上に伴い、売上高は7,305百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

保守・修理部門につきましては、機器修理が堅調に推移し、売上高は428百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

以上その他を含め、計測機器セグメントにつきましては、売上高は7,733百万円（前年同期比25.9%増）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は3,068百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

②コンサルティングセグメント

コンサルティングセグメントにつきましては、ダムの安全性を計測するセンサの設置等のダム関連分野が堅調に推移いたしました。各種計測の業務委託分野が低調であったため、売上高は661百万円（前年同期比5.8%減）となりました。また、セグメント利益（売上総利益）は採算性向上により269百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

a. セグメント別受注状況

(単位：千円)

項目	前第2四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成26年1月1日 至平成26年6月30日		比較増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
計測機器	6,678,973	2,837,515	7,190,075	2,646,272	511,102	△191,243
コンサルティング	718,913	256,301	652,912	227,565	△66,001	△28,736
合計	7,397,886	3,093,816	7,842,987	2,873,837	445,101	△219,979

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

b. セグメント別売上状況

(単位：千円)

項目	前第2四半期連結累計期間 自平成25年1月1日 至平成25年6月30日		当第2四半期連結累計期間 自平成26年1月1日 至平成26年6月30日		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
計測機器	6,142,379	89.7%	7,733,372	92.1%	1,590,992	25.9%
コンサルティング	702,577	10.3%	661,527	7.9%	△41,050	△5.8%
合計	6,844,957	100.0%	8,394,899	100.0%	1,549,942	22.6%

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は19,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ247百万円の増加となりました。

流動資産は13,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が419百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が106百万円、有価証券が100百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は6,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産が10百万円、無形固定資産が27百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は8,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円の減少となりました。

流動負債は5,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ361百万円の減少となりました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が373百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、2,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円の増加となりました。その主な要因は、長期借入金が84百万円増加した一方で、退職給付引当金が61百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は11,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ598百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金が、配当に伴う減少276百万円及び四半期純利益による増加816百万円による差引き等で540百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益1,246百万円、減価償却費195百万円、売上債権の減少105百万円、仕入債務の増加372百万円等の資金流入に対し、法人税等の支払404百万円等の資金流出があり、全体では1,163百万円の資金流入(前年同四半期は1,237百万円の資金流入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得268百万円、無形固定資産の取得23百万円等の資金流出があり、全体では303百万円の資金流出(前年同四半期は152百万円の資金流出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入れによる収入250百万円、株式給付信託に係る自己株式の処分による収入45百万円の資金流入がありましたが、長期借入金の返済538百万円、配当金の支払273百万円等により、全体では524百万円の資金流出(前年同四半期は445百万円の資金流出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比べ302百万円増加し、5,206百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期においては当初の想定を上回る業績となっておりますが、今後の受注等に不透明な要素もあることから、平成26年2月6日の決算短信で公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。なお、今後業績予想に変更が生じた場合、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,433,898	4,853,287
受取手形及び売掛金	4,766,388	4,659,766
有価証券	830,000	730,000
商品及び製品	919,124	921,537
仕掛品	1,026,340	858,598
未成工事支出金	45,298	44,297
原材料及び貯蔵品	1,088,297	1,254,936
その他	363,453	352,168
貸倒引当金	△3,348	△912
流動資産合計	13,469,453	13,673,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,362,745	2,294,507
その他(純額)	1,475,053	1,554,167
有形固定資産合計	3,837,799	3,848,675
無形固定資産		
	116,577	144,184
投資その他の資産		
その他	2,074,144	2,078,570
貸倒引当金	△1,888	△1,872
投資その他の資産合計	2,072,255	2,076,698
固定資産合計	6,026,632	6,069,557
資産合計	19,496,085	19,743,237
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,505,876	1,875,155
短期借入金	1,480,000	1,480,000
未払法人税等	369,878	362,034
賞与引当金	175,332	209,205
役員賞与引当金	43,600	20,471
その他	2,136,264	1,402,363
流動負債合計	5,710,951	5,349,231
固定負債		
長期借入金	310,544	395,310
退職給付引当金	2,365,457	2,303,875
役員退職慰労引当金	129,951	127,747
資産除去債務	11,919	12,038
その他	50,316	39,650
固定負債合計	2,868,190	2,878,622
負債合計	8,579,141	8,227,854

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,723,992	1,723,992
資本剰余金	1,773,005	1,793,960
利益剰余金	7,210,857	7,750,997
自己株式	△113,058	△88,610
株主資本合計	10,594,795	11,180,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244,032	281,901
為替換算調整勘定	78,116	53,140
その他の包括利益累計額合計	322,148	335,042
純資産合計	10,916,944	11,515,382
負債純資産合計	19,496,085	19,743,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,844,957	8,394,899
売上原価	4,036,015	5,056,839
売上総利益	2,808,941	3,338,059
販売費及び一般管理費	2,004,325	2,111,252
営業利益	804,616	1,226,806
営業外収益		
受取利息	3,818	7,611
受取配当金	18,440	21,777
保険配当金	10,924	12,126
為替差益	50,011	—
その他	10,284	12,681
営業外収益合計	93,479	54,197
営業外費用		
支払利息	23,590	16,080
為替差損	—	10,786
その他	12,874	7,290
営業外費用合計	36,465	34,157
経常利益	861,629	1,246,846
特別利益		
投資有価証券売却益	3,750	—
特別利益合計	3,750	—
税金等調整前四半期純利益	865,379	1,246,846
法人税、住民税及び事業税	360,969	398,484
法人税等調整額	△60,845	31,955
法人税等合計	300,124	430,439
少数株主損益調整前四半期純利益	565,255	816,406
四半期純利益	565,255	816,406

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	565,255	816,406
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,608	37,869
為替換算調整勘定	31,994	△24,975
その他の包括利益合計	138,602	12,894
四半期包括利益	703,858	829,301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,858	829,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	865,379	1,246,846
減価償却費	184,893	195,347
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△810	△2,452
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45,232	△61,582
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,406	33,873
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,815	△23,128
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,641	△2,203
受取利息及び受取配当金	△22,259	△29,389
支払利息	23,590	16,080
売上債権の増減額(△は増加)	479,116	105,034
たな卸資産の増減額(△は増加)	△339,124	△634
仕入債務の増減額(△は減少)	147,401	372,763
その他	203,811	△296,026
小計	1,498,717	1,554,528
利息及び配当金の受取額	22,098	29,877
利息の支払額	△23,942	△16,402
法人税等の支払額	△259,315	△404,459
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,237,557	1,163,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△5,000	△16,620
投資有価証券の売却による収入	4,500	-
関係会社株式の取得による支出	-	△3,094
有形固定資産の取得による支出	△129,771	△268,913
無形固定資産の取得による支出	△19,152	△23,395
その他	△2,889	8,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,314	△303,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	-
長期借入れによる収入	100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△284,798	△538,703
自己株式の取得による支出	△272	-
自己株式の処分による収入	44,474	45,403
配当金の支払額	△199,044	△273,898
その他	△5,898	△7,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,539	△524,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,993	△32,119
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	689,697	302,769
現金及び現金同等物の期首残高	3,400,640	4,903,898
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,090,337	5,206,667

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル テイング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,142,379	702,577	6,844,957	—	6,844,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,142,379	702,577	6,844,957	—	6,844,957
セグメント利益	2,546,897	262,044	2,808,941	—	2,808,941

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。

I. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	コンサル テイング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,733,372	661,526	8,394,899	—	8,394,899
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,733,372	661,526	8,394,899	—	8,394,899
セグメント利益	3,068,138	269,920	3,338,059	—	3,338,059

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益の金額と一致しております。